

外典 月姫
琥珀

B L A C K F L Y



血と、
痛みと、
コンクリート。

そして
四角く切り取られた空。

それが私の世界の全てだった。

BLACK FLY 2002
TATSUYA IKEGAMI PRESENTS

少女の魂のために。

いつから
ここに
いるのか

私は
知らない

粘度すら感じる
暗黒の中を

私は歩いた



ただ、
そこを目指して……

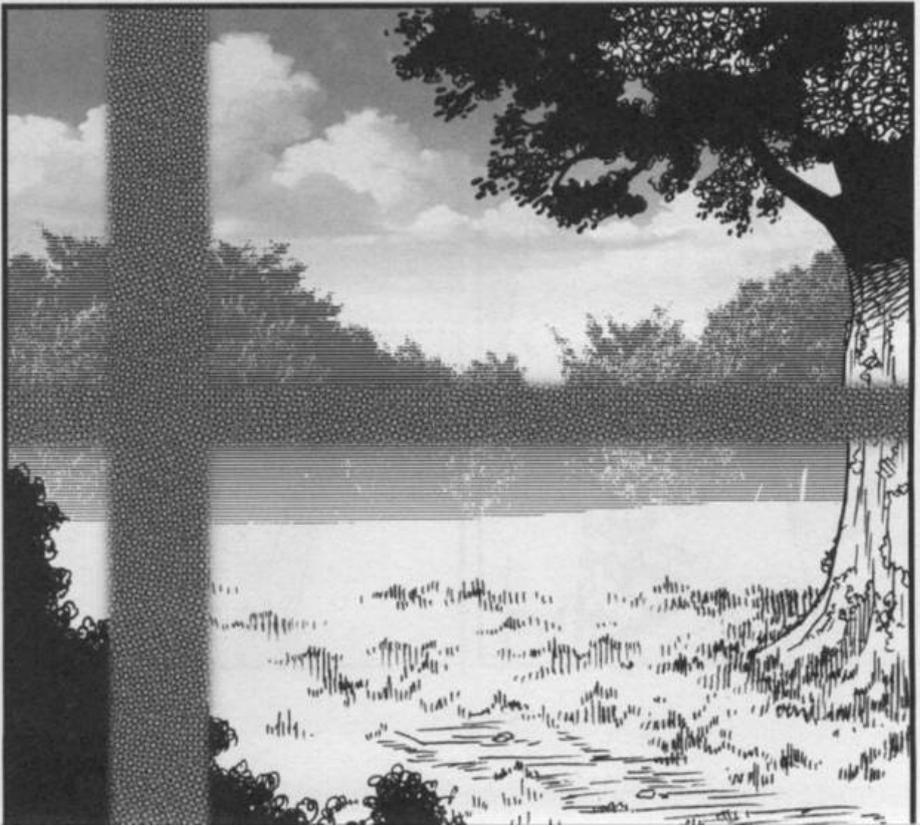
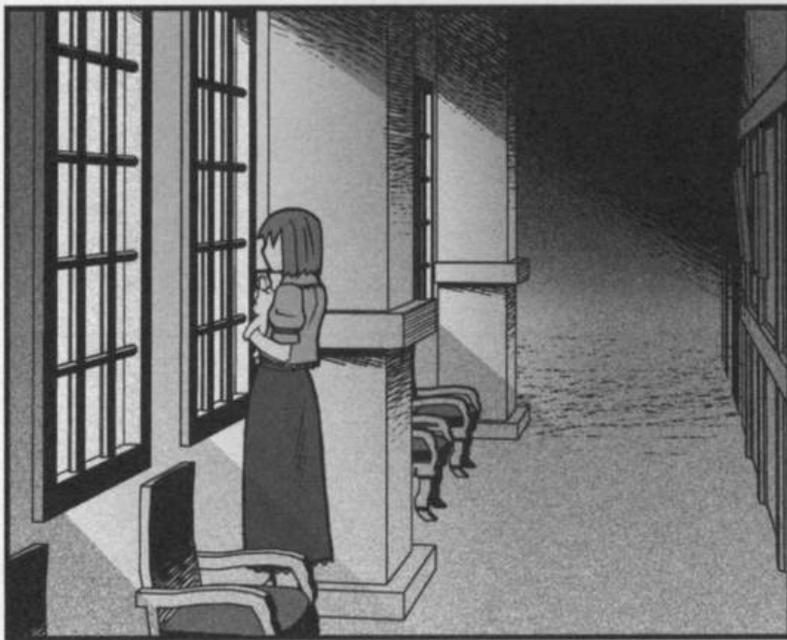
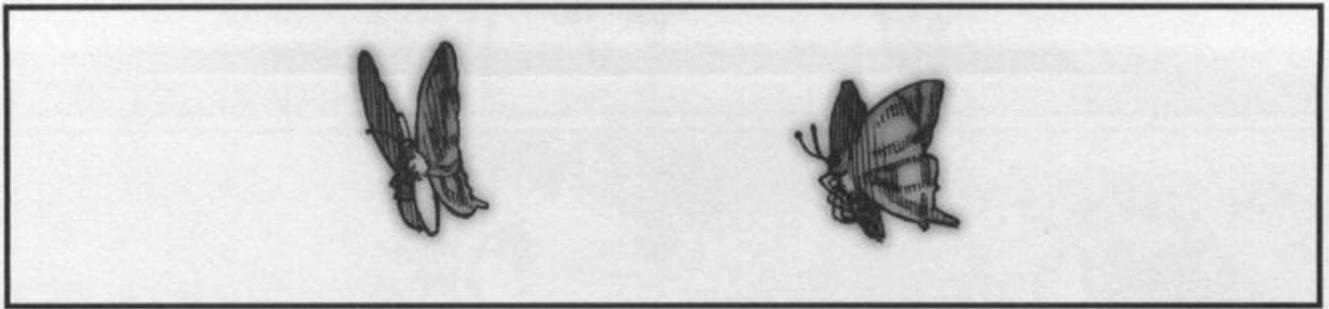
歩

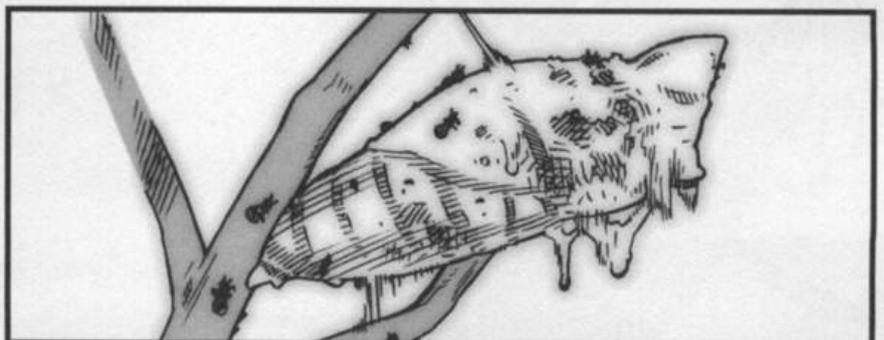
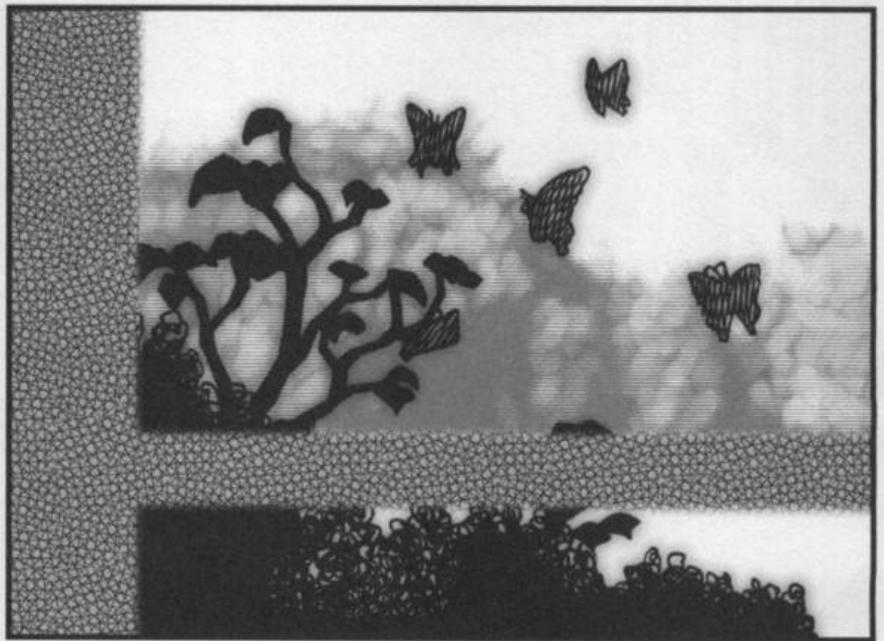


蒼い残照

池上竜矢

176

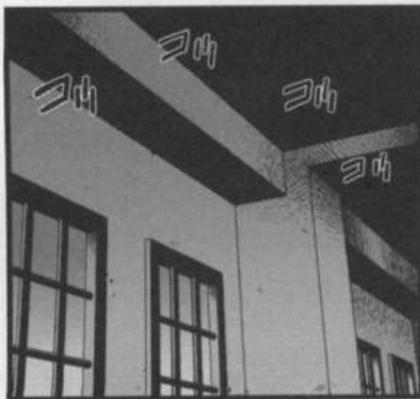
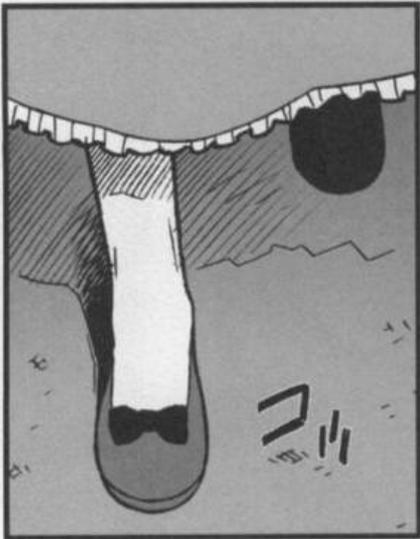


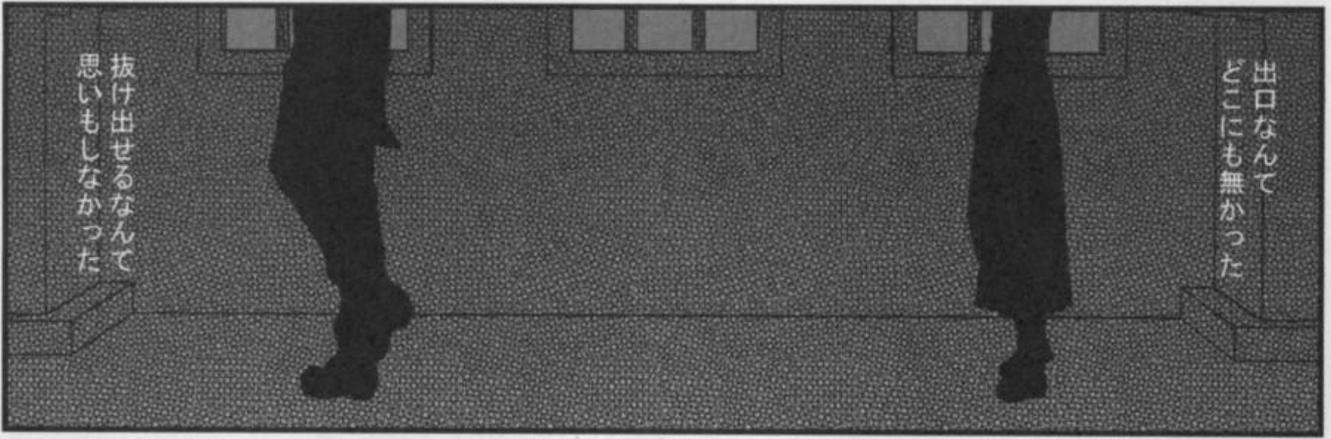




琥珀

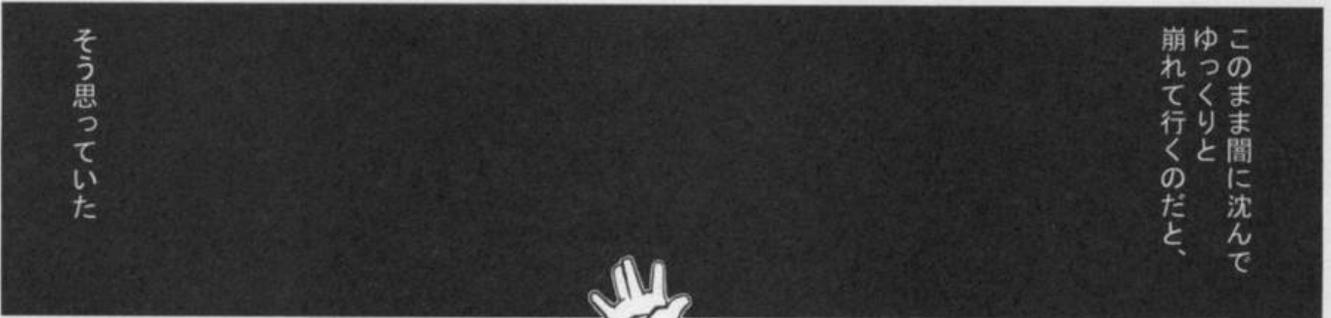
御勤めの
時間だ





出口なんて
どこにも無かった

抜け出せるなんて
思いもしなかった



このまま闇に沈んで
ゆっくと
崩れて行くのだと、

そう思っていた



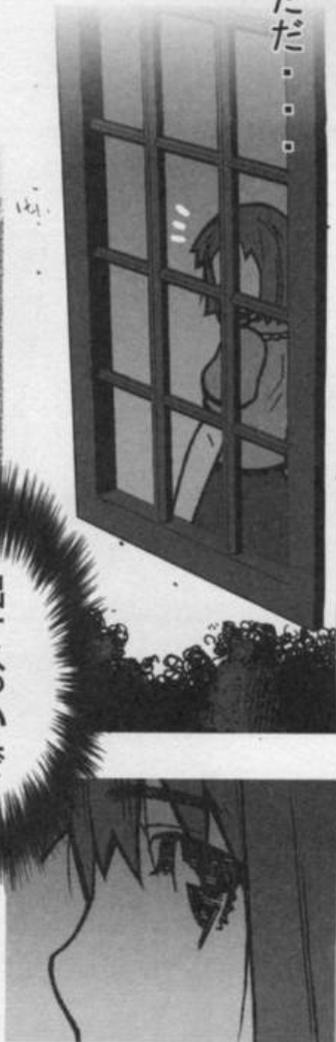
ただ、それは。。。。



ただ。。。。

一緒に
遊ぼうよ！

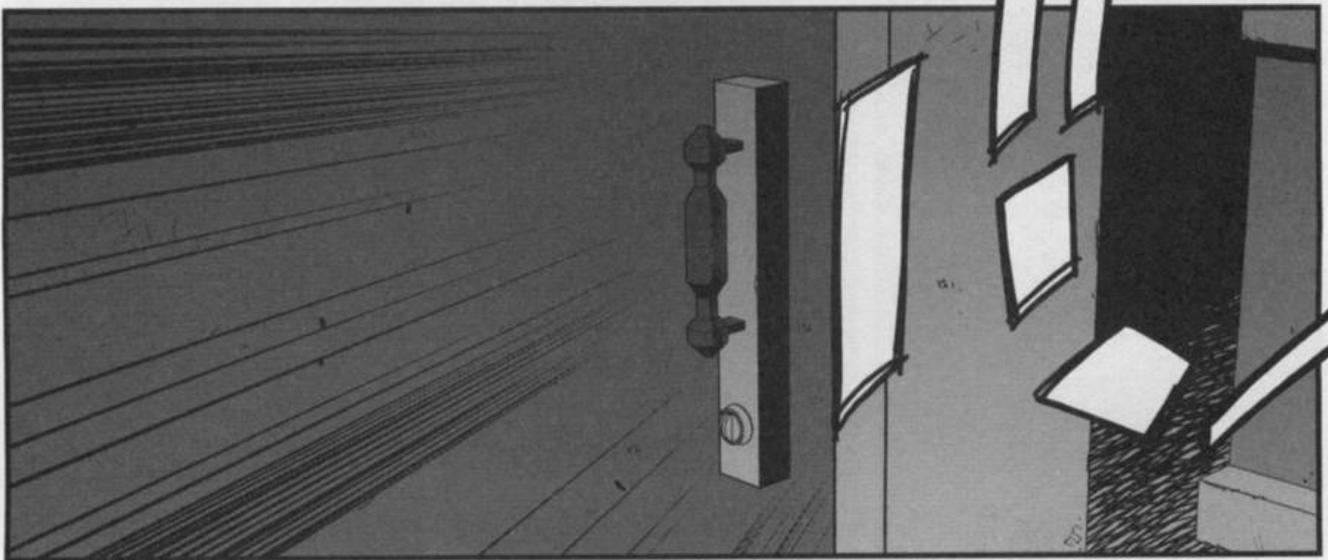
出ておいで

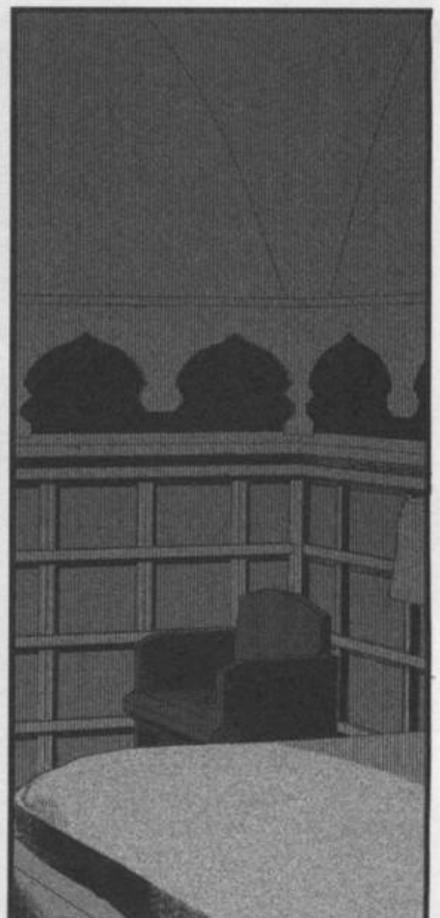
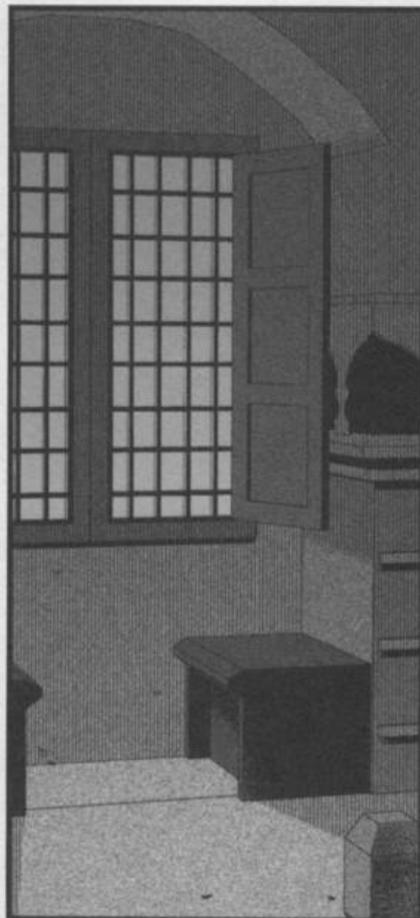
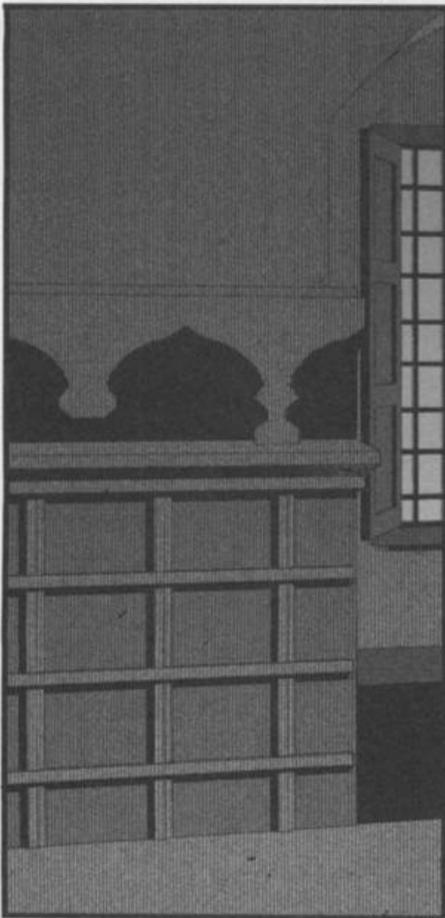
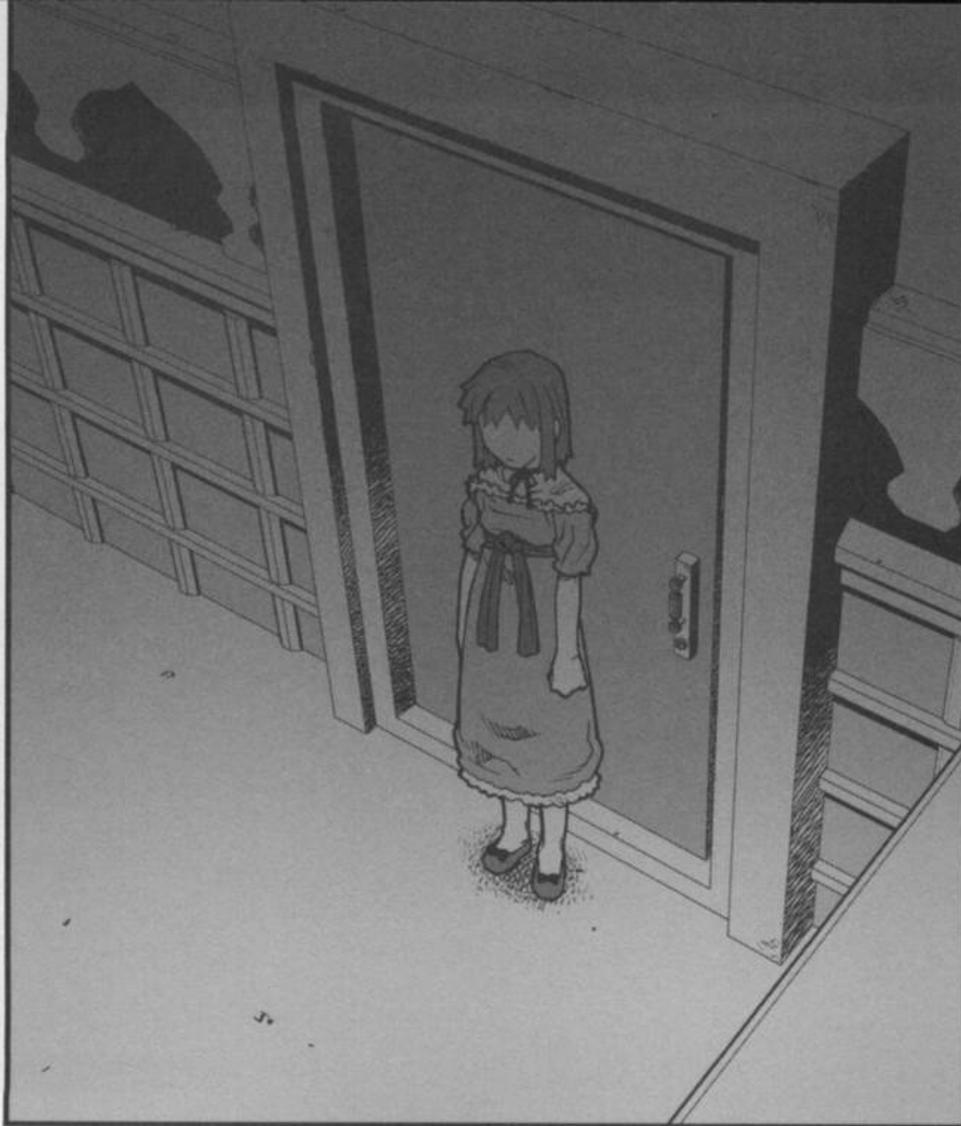


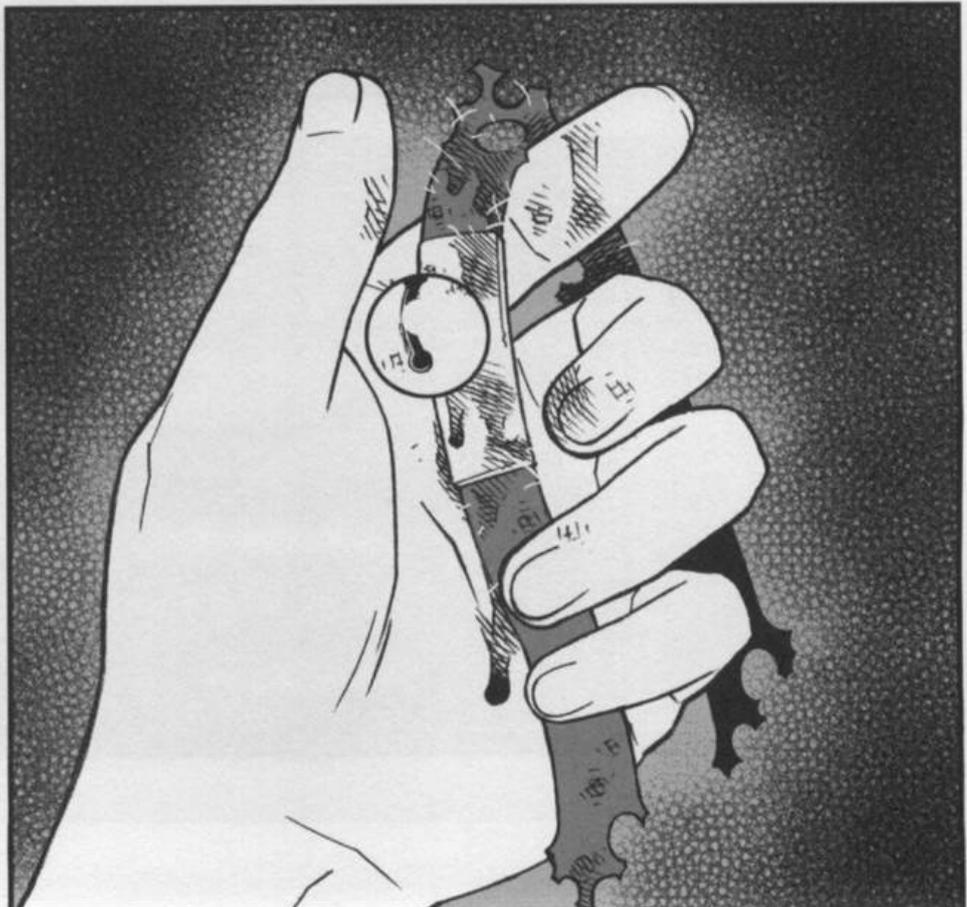
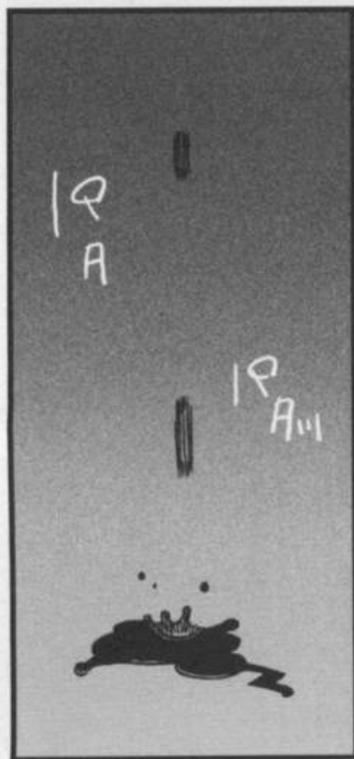
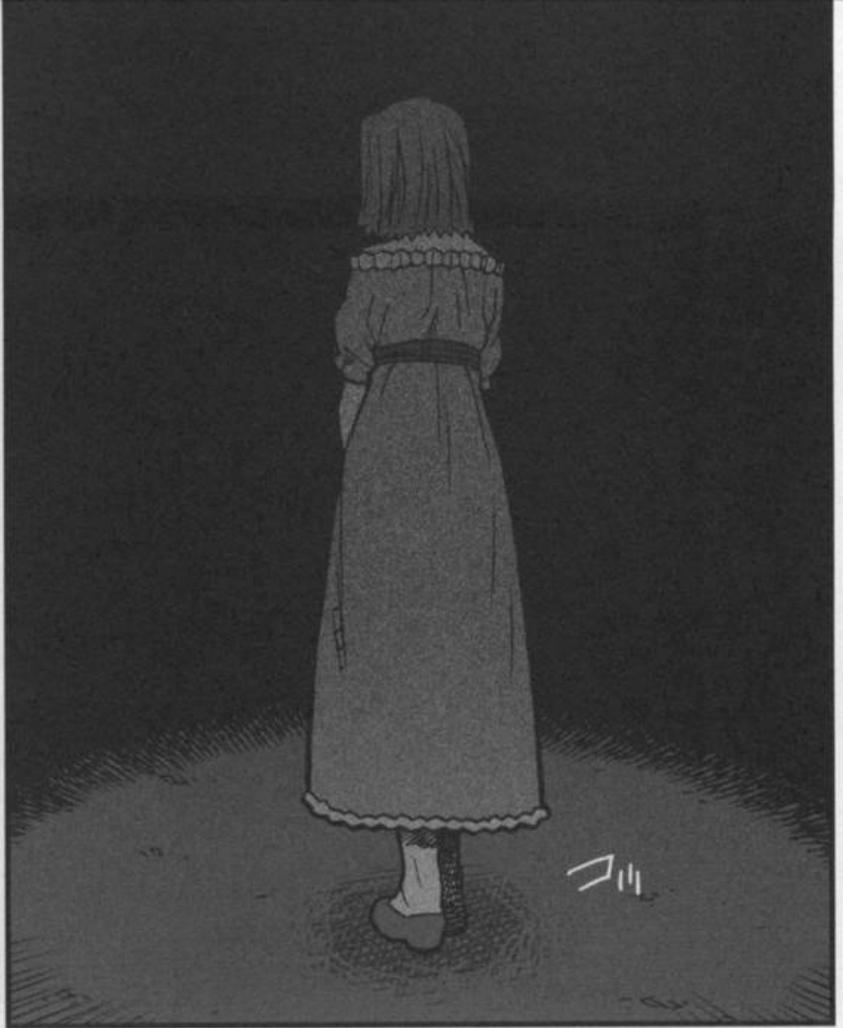
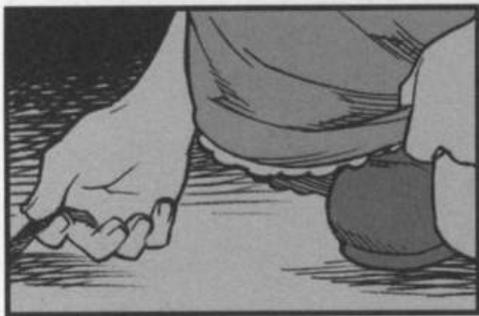
その光は

この絶対的な闇の中でなお

輝いて見えた。。。。







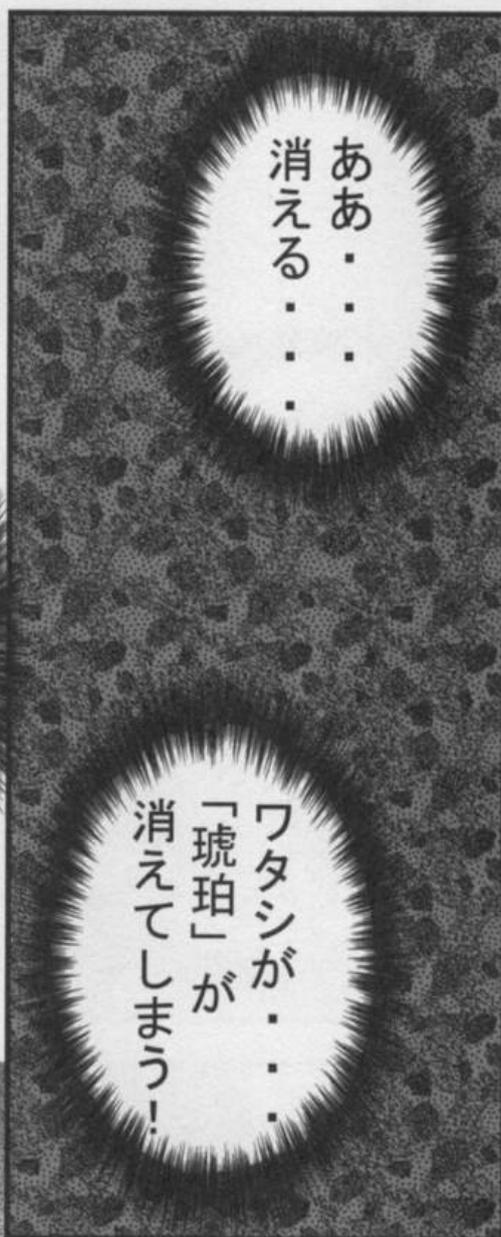




このまま闇に沈んで、ゆっくりと崩れて行くのだと・・・



その行為は
ただの思い込み
だと分かった



ああ・・・
消える・・・

ワタシが・・・
「琥珀」が
消えてしまう！



それでも妹の姿に
自分を重ねて
見ている時だけは

この暗闇を
抜け出して

やさしさを、
ぬくもりを・・・
感じる事が
出来た・・・



行かなくちや、
あそこへ・・・

この手の先へ！



どんなに惨めで
無意味な事でも



立ち止まれば
たちまち闇に
吞まれてしまう

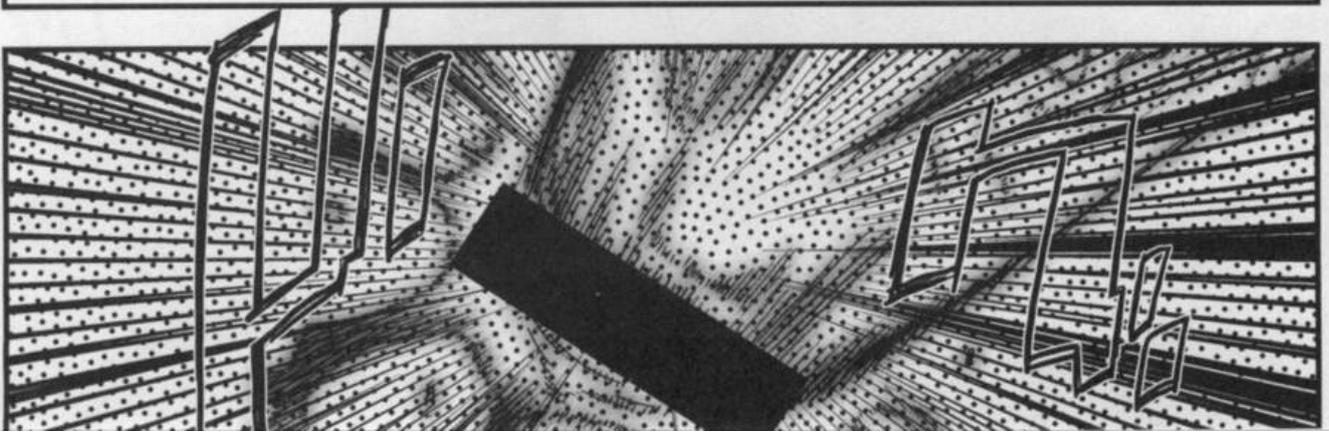


崩れきった
自我の残滓に
しがみついて

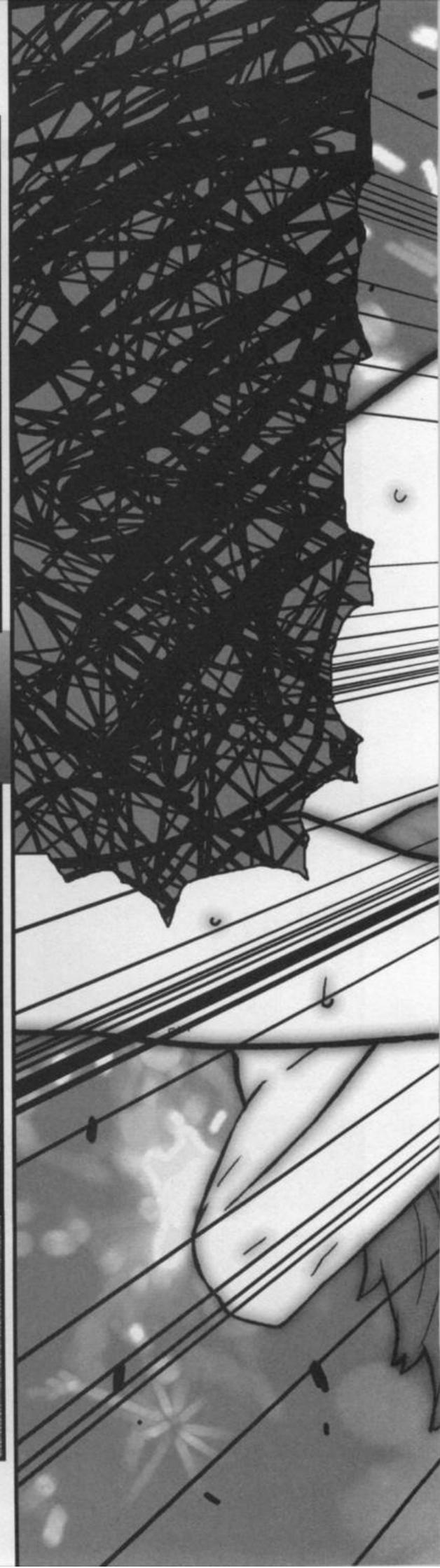
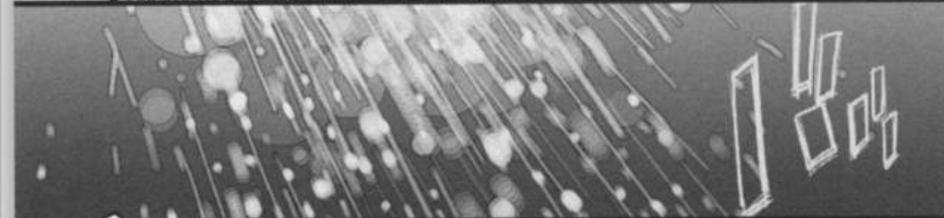


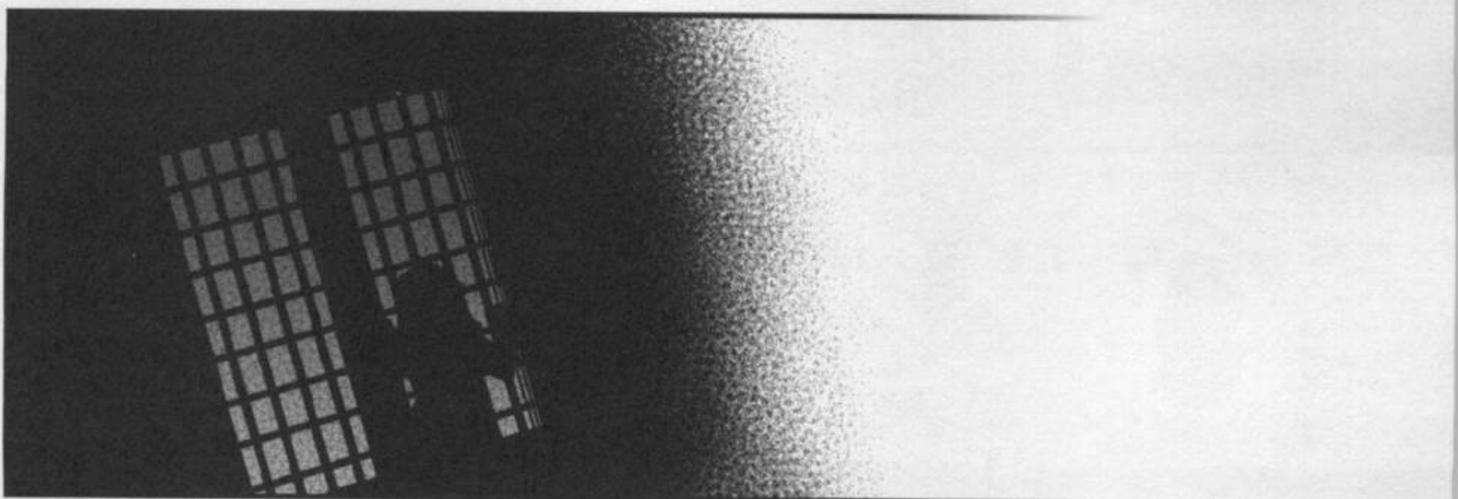
それでも
もう少し・・・

あのぬくもりを感じていたかった・・・









そうして私は「人間」をやめた





だからそうして
沈んで行くの？



希望を
知らなければ
絶望を知る事も
無かった・・・

なら沈んで
しまえばいい・・・
深く、深く・・・



何も望まない
人形に
なればいい
・・・



どんなに手を
伸ばしても
あそこへは
届きはしない

ただ
彼方からの光に
思い焦がれて
・・・

そんなの
滑稽で・・・
残酷過ぎる
・・・



!?

な、何？

いいから



目を
閉じて



三つ数えて
ゆっくり開けるの

いい？



ひとつ

ふたつ



みっつ



乾杯!



兄さんの
歓迎会を
盛り下げる気?

クワッ

ほおら〜〜〜!
突っ立てないで
飲みなさい!



姉さん?

何だよ秋葉
お前もう酔って
るのか？

冗談言わないで
下さい！
こんなの酔った内に
入りません！

あ、秋葉様
その言動が
すでに・・・

何ですって？
もう一度
言って
御覧なさい

うわっ！
お前もうボトル
二本空けて・・・

あゝもゝ
二人とも
うるさゝいっ

あ、あああ
秋葉様あ？

と、取り
押さえろ
ゝゝゝっ！

だって

望んだ夢は
とっくに・・・

叶ってたって
いうのに・・・

私・・・
馬鹿です

・・・あれ？
どしたの
琥珀さん？





琥珀っ！



いつかこの背中に
羽が生えて

この暗闇を
抜け出す事が
出来たなら



青空の下を
駆け回り

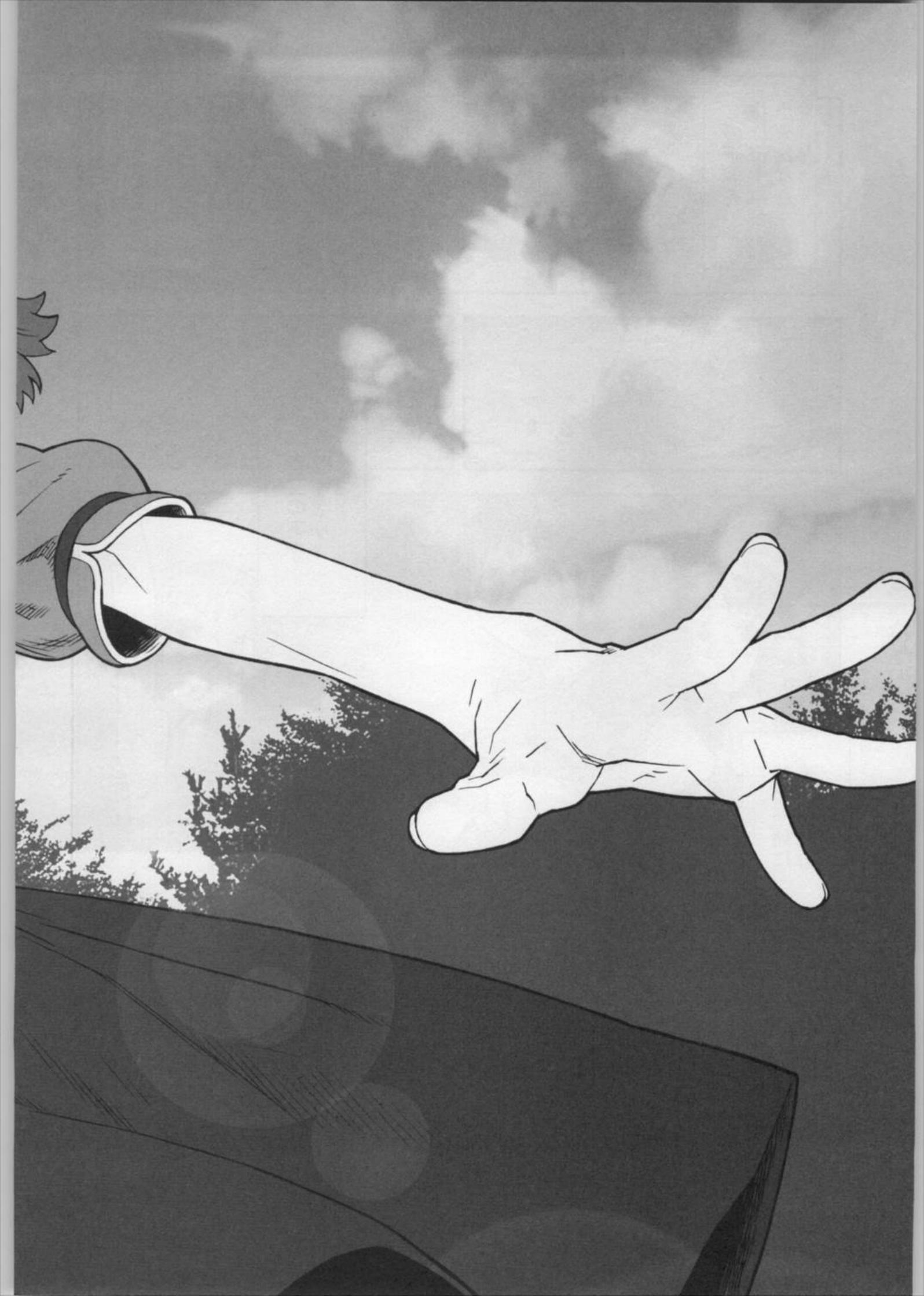


皆と一緒に
笑いあえる

それが遠い昔

幼い少女が
夢見た









夢た
だつ
った
た。つ
の

TATSUYA IKEGAMI
BLACK FLY 2002

灰の上に種を撒き 花を咲かそう
天の空の真下に立ち 風をおこそう
闇の重さ深く沈めて

祝祭の前／新居昭乃

編集後記

本を作ろうと思ったのは2001年2月、
それから約一年半、ようやく形にすることが出来ました。
本書は書名が表すように外道の書でありまして、細々とした設定や
展開、事象など月姫本編とは合致しない箇所が多数ありますが、
そこはそれ、これこそ二次創作の醍醐味と考えて頂ければ
世界中の（主に僕の）幸せの総量が増すこと請け合いです。

てゆーかゴメンナサイ。

ついでにお子様好きの方々にもお詫びをば。
努力しましたが僕にはお子様体型描くのは無理だった様です。
ゴメンナサイ、修行します。
今回は脳内補完でご容赦ください。

ともかく僕自身これほど楽しんで作れた本は久々でした。
素晴らしい遊び場を創造して下さいましたTYPE-MOONスタッフの皆様と
原稿製作に尽力してくれた友人達、そして本書を手にして下さいました
全ての方々に、最大級の感謝を。

ありがとうございました。

では次回、さっちゃん&志貴っちラブラブジェノサイド漫画
「外典月姫_巻ノ弐_殺人鬼の昏夜」にてお会いしましょう。

奥付



外典月姫__琥珀

- 著者／池上 竜矢
- 製作／池上 竜矢
- 発行／BLACK FLY

背景 3Dモデル作成／丹治 康裕

本書の無断転載、複製、ネット上（P2Pを含む）での配布
その他全ての海賊行為、未成年者の購読を禁じます。



FOR ADULT ONLY

外典 月姫

琥珀

TATSUYA IKEGAMI

BLACK FLY 2002